

東浦民報

No.342

連絡先

470-2102

東浦町大字緒川字北山神52
電話(83) 6306(FAX)

東浦民報編集委員会

日本共産党

防災・福祉・教育を重点に

2012年度予算に要望書提出

日本共産党の山田真悟町議と党東浦町委員会の平林良一委員長、田井中浩之福祉対策部長が10月25日、神谷明彦町長に2012年度東浦町予算要望書を提出し説明しました。要求項目は78項目で、県への働きかけの要望は9項目です。神谷町長は、提出された予算要望はホームページなどで公開したいが、共産党は項目数が多いので、他会派とのバランス上どのようなにしたらよいか考えたいと述べました。主な要求について紹介します。

災害に強いまちづくり

- ◇浜岡原発廃炉・永久停止を求める。
- ◇高層建物と津波避難所協定を結び、津波からの住民の避難に役立てる。
- ◇東海・東南海・南海地震が連動して起きる場合に備えた地域防災計画を。

公務員は全体の奉仕者であると同時に労働者としての待遇を

- ◇正規職員を減らすのではなく、「ゆとり」の必要な保育士、保健師などは正規職員を増やす。
- ◇臨時職員の賃金引き上げ、ボーナスの支給を。

大開発より生活に密着した施策を

- ◇大府市との境に計画している170ヘクタールの「ウェルネスバレー構想」は既存の医療・介護施設との連携と優良農地の営農振興に見直しを。
- ◇石浜工業団地の工業用地はいつまでも未利用で放置しないように企業側の真意をたずねること。
- ◇住宅リフォーム補助制度をつくり地域経済の活性化を。
- ◇JR武豊線の増便・増結と緒川駅にエレベーターの設置を。

農業・中小企業支援と自然エネルギー政策の推進を

- ◇耕作放棄農地を積極的に借り上げて町民農園に活用を。
- ◇太陽光発電、太陽熱温水器、バイオマス発電、風力発電の普及の補助金制度の充実を。
- ◇公共事業の入札で総合評価方式の枠を広げるとともに、「公共調達基本条例」の制定で地元業者育成に努める。
- ◇生ごみ堆肥センターを設置し、生ごみの分別収集を図る。

児童福祉・高齢者福祉・介護の充実で家族の負担軽減を

- ◇児童館の児童クラブの開館

時間を早め、専任の指導員の配置を。

◇低所得者の介護利用分を助成して無料化を。

◇低所得者が入所できるように特養ホームに多床室の建設を。

◇ひとり住まい老人や単身者が入居できる公営住宅建設や民間住宅の借り上げを。

県への要望

◇相生交差点に右折信号の設置を。

◇東浦郵便局前に押しボタン信号機、東浦北交番前に信号機の設置を。

◇東浦中学生の自転車通学の安全確保のため国道366号に自転車も通れる歩道の設置を。

◇緒川桐池地内の産業廃棄物の撤去は県で行うこと。

◇町内2級河川の浚せつを。

◇35人学級を小学4年5年に順次拡大を。

◇県立半田養護学校のマンモス化解消のため新設校の建設を。



子供の健やかな成長を支える教育行政

- ◇学力低下、不登校、いじめ、非行などに対応できる「早期支援プログラム」の作成を。
- ◇学校給食の無料化や修学旅行費の公費負担を。
- ◇受動喫煙対策で学校敷地内は禁煙に。
- ◇学校給食・保育園給食の食材は地元産の採用を。
- ◇給食センター新築で米飯の自校方式導入を。
- ◇教職員のメンタルヘルスとして、医師の配置、男女別休養室、シャワー室の設置を。

しんぶん 赤旗

お申し込みは
山田真悟 83-6306
平林良一 83-4379
田井中浩之 0569-21-7373

原発問題や
TPP問題で
世論をリードする

日刊紙 月3400円

日曜版 月800円